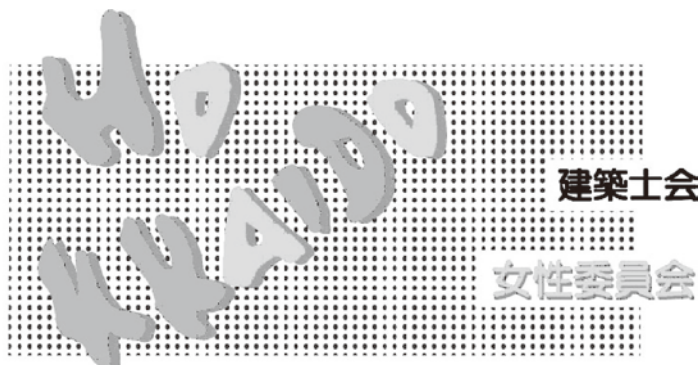


No. 108



## 北海道旭川工業高等学校ワークショップ

～『旭川市の「とき」に映える新庁舎』～

齊藤 裕美 (旭川支部)

### 季節のしつらいを学ぶ

—しめ縄スワッグづくり—

新海 直美 (札幌支部)

札幌支部女性委員会で兼ねてからの念願だったスワッグづくり。

2022年12月3日(土)に開催となりました。

講師は森脇理恵さん。元看護師であり、日本で唯一のフラワーデザインに関する国家資格「一級フラワー装飾技能士」や「植物療法士」をお持ちという異色の経歴の方です。

今回はインド料理のお店の一角をお借りしての開催となったのですが、そのシチュエーションも中々面白く、わくわくとした中で始まりました。

下記の材料を先生がご用意下さいました。

1. コニファー：ブルーアイス
  2. コニファー：ブルーバード
  3. リューカデンドロン：レッドタグ
  4. ユーカリの実：テトラゴナ・ナツツ
  5. 月桃の実
  6. 山帰来 (サンキライ)
- 他にリボンや水引きなど

個人ではあまり手にすることはないのであろう大ぶりの枝や、見たことのない品種に、わーっと声が上がります。原産地や植物としての効能などの他、美しくみせるコツとして、ひし形に整えることや上部にボリュームをもたせること、しっかりとした括り方なども

教えて頂き制作がはじまりました。

もの作りが好きな参加者ばかりだからでしょうか、皆、あーでもないこーでもないといつぶやきながらも一心不乱に作っていきます。

コニファーの枝を切ると、爽やかな香りが立って、思わず深呼吸。焦る気持ちを癒してくれるのでした。



〈香りをお伝えできないのが残念〉

スワッグが出来上がったら、リボンをつけてクリスマス仕様が完成です。リボンもブラックとホワイト、ピンクとご用意頂き、其々の好みの色を見てまたひと盛り上がり(笑)

クリスマスを過ぎたら、そのリボンを水引きに取り替えて、しめ飾りになるという2度美味しい仕様のスワッグとなっています。

やはりワークショップは楽しいですね。2023年もまた何かものづくりができたらと思います。



〈お子様も一緒に参加頂きました〉

建設業界や設計分野も含め、若手の担い手不足の問題から建築の楽しさ、素晴らしさを伝えたいという思いで始めたこの事業も、今年で9回目となりました。

今回のテーマは来年竣工予定の「旭川新庁舎」です。旭川市役所の設計までの道のりと、その後設計委託を受けた(株)久米設計の魚本さんから設計の意図やプロポーザル時のお話しをして頂きました。後半はワークシートに1階のロビー、8階の議場、9階の展望ラウンジを高校生の視点で当初の目的以外の使い方のアイデアをグループで考え、発表してもらいました。・地元の食材を味わってもらうマルシェ・夜景を見ながら地酒で乾杯・ジムとサウナとカフェ(高校生も気分転換する場所が欲しい!)・議場をeスポーツ世界大会会場→世界中に旭川をアピール出来るなどのアイデアが出ました。

アンケートの回答からは「自分は将来設計事務所に就職したいと考えているので、設計士の仕事内容が詳しく聞けてとても参考になりました。」「プレゼンテーションの仕方などあまり学校でやらないことができたので、今後に生かせる良い機会でした。またこのような機会があれば参加したいと思いました。」などの回答があり、来年も引き続き開催し、一人でも多く建築士の道を目指してもらえとうれしいです。



〈講義に聞き入る生徒さんの様子〉